

子どもと一緒に職場復帰の準備をするために

育休明けが目前に迫った職員研修のとなりで行う保育となると、0、1歳児が多いことが予測されました。乳児の保育で大切になることは大人も子どもも安心してできること、清潔であること、安全であることが確認されました。

生まれてから約1年間お母さんと一緒に過ごすことが当たり前だった子どもたちにとって、急にお母さんから離れることは難しいことです。研修会場のそばにマットを敷き、お母さんたちが見えるところですので、できるように、配慮しました。



安心して子育てと就業が両立できる企業を目指して

J A 横浜の地域ふれあい課と連携して5年が経過し、保育付き料理(子育て)教室のノウハウを育休明けに向けた職員研修に活かすことができなかつたかと人事教育課との検討が平成29年秋に始まりました。保育スペースや道具などはこの5年間で料理教室で使ってきたものを使用することになりました。それに加え、0歳の子どもが手に取るのにふさわしいとされる、木製を中心としたおもちゃや家庭でもそろえることができる身近な素材で作ったおもちゃを用意することとなりました。

「育ママComebackセミナー」に

関する活動協力



本年度は令和2年2月21日に開催されました。参加予定数もこれまでの2回と同様25名程度の子どもたちと出会いました。

親も子どもも安心してできるように温かな雰囲気をつくることをこころがけ、新しい出会いが広がる場となりました。今年度はこれまでの取り組みよりもより具体的に4月からの仕事と子育てがイメージできるように、業務の変更点の確認や先輩ママからの体験談を聴く研修内容となり、職場復帰に向けて自信になった、会社が子育てと働くことの両立を応援してくれているのだと感じることができた機会になった。という話を伺うことができました。

参加されたお母さんにとっては、子どもと一緒に仕事場を訪れ、職場の雰囲気を知りたい、職場復帰のイメージを持つことができたようです。それが安心して働くことへの助けになることがこの取り組みを通して明らかになりました。また、家庭と違った場でのわが子の姿を知る一日となったようです。

プロジェクト概要

- テーマ
「育ママComebackセミナー」
- パートナー
横浜農業協同組合(J A 横浜)
- 担当教員
田尻 さやか 助教
- 実施期間
2018年4月～2020年3月